

# つなごう、武雄の歩みと未来

平成から令和へと時代が移り行くなか、武雄市は多くの皆さまの力強いご支援に支えられ、この節目を迎えることができました。市民の皆さまをはじめ、これまで市政の発展にご尽力いただいた、すべての皆さまに心より感謝申し上げます。

20年という年月は、一つの世代が育ち、まちの風景や暮らしが大きく変わるほどの長さでもあります。その間に積み重ねられてきた日々の営み一つひとつが、今の武雄市を形づけています。とりわけ直近の10年は、西九州新幹線の開業による交流人口の拡大や今春の4年制大学開学など、未来への希望を感じさせ

る明るい出来事がありました。その一方で、豪雨による水害の発生や新型コロナウイルス感染症のまん延など、多くの困難に直面した時期もありました。困難の中にあっても前向きに歩みを進めることなく進んできたことこそが、武雄市の大きな力であると感じています。

また、この間、治水対策を最優先に、子育て・教育環境の充実、高齢者福祉の推進、防災・減災の強化、地域経済の活性化、そして文化・スポーツの振興など、さまざまな施策を進めてまいりました。これらの歩みは、市民の皆さまの深いご理解と、ご協力のおかげで形にすることができました。皆さまの

日々の努力と、このまちへの想いに、あらためて心より感謝申し上げます。

この20周年は、これまでこのまちを築いてきた先人の努力と想いに感謝し、あらためて地域の魅力を再発見するとともに、今を生きる私たちがその歩みを次世代にしっかりとつなげ、安心と希望ある未来をついていくための新たな一歩を踏み出す節目であります。これからも、全員で力を合わせ、どんな環境や境遇であっても、一人ひとりが自分らしく幸せに暮らせるような、やさしさと希望に満ちた武雄市を、みんながつくっていきましょう。

武雄市長

小松政



## 武雄市 / 9町 2006-2026



# TAKEO CITY

# 誰もが住みやすく、輝くまちへ

平成18年3月1日に新武雄市が誕生してから20周年を迎えましたことを、心よりお慶びを申し上げます。

この20年で武雄市は大きく変わりました。武雄市図書館、武雄市子ども図書館は市民や観光客の憩いの場となり、親子連れや学生、ご高齢の方まで、幅広い世代の皆さまに親しまれています。また、新幹線停車駅となった武雄温泉駅は、海外からの来訪者にも多く利用されるなど、西九州の交通の要衝として歩みを重ねてまいりました。

ケーブルウォン・スポーツパークではさまざまな公式戦が開催可能となり、市民サークル

活動などにおいても昼夜問わずご利用されています。さらに4月には武雄アジア大学が開学し、まちには若い力が溢れます。学生たちの新たなアイデアと情熱は、10年後、20年後、そして100年後へと続く、わがまち「武雄」を築く確かな礎となることでしょう。

しかしながら、光もあれば影もあります。市の人口は徐々に減少し、耕作放棄地の増加や買い物弱者への対応、水害対策などさまざまな課題を抱えています。

武雄市議会といたしましても、市民の皆さまのご意見を市政に反映させるべく、議員一人丸となって討論を重ね、熟議を尽くしながら、

数多くの決定を行ってまいりました。今後も引き続き、責任ある議会運営にしっかりと取り組んでまいります。

市政20周年を迎え、武雄市は今、新たな挑戦の時を迎えています。

地域の伝統や文化、そして市民一人ひとりのつながりを大切に守りながら、未来への道を共に歩み、誰もが住みやすく、輝くまちづくりを、市民ニーズを的確に把握しつつ、皆さまと共に目指してまいります。今後とも市議会への関心をお寄せいただき、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

武雄市議会といたしましても、市民の皆さまのご意見を市政に反映させるべく、議員一人丸となって討論を重ね、熟議を尽くしながら、



武雄市議会議長  
吉川里巳

# 20th ANNIVERSARY